

財っ子通信 平成28年度 第2号

文責 校長：三樹和幸

財光寺小学校

電話：54-2825

校長 Email:

zaikoji-k@hyugacity.jp

やりたいこと できることが増え

やらなければならないことが確実に定着し みんなが伸びる学校

楽しく仲良くPTA

先日、比良保育園で講演会をさせていただきました。他の幼稚園等ではこれまで数度してきたこともあり、小学校入学前の保護者の皆様に聞いて欲しい話も多いので、依頼に快諾したところでした。そこでは、子どもは親の喜ぶ姿を待っていることや親同士仲が良いことが様々な問題を解決しやすくなることなどを話しました。

① 親の喜ぶ姿

言われたことを約束通りにやった時にその姿を見せるのか、

自分で気づいて手伝いをしてくれたときに見せるのか

難しいことにチャレンジしたときに見せるのか

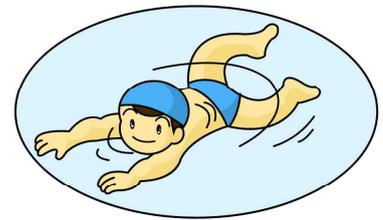
その見せ方で子どもの意欲や自主性も変わってきます。できたら、喜ぶべき子どもの様子が見えたら学校にも教えて下さい。さらに褒めて、伸ばしていきます。

② 親同士の仲のよさ

本校は、PTA 活動でソフトボールやミニバレー、PTA の集いなど、保護者の方々が親睦を深める機会に恵まれています。親同士が繋がると、ちょっとした子ども同士のトラブルも深刻化せずに前向きな未来志向の話ができ、解決も早いようです。どうぞ、本校 PTA 活動に参加して、保護者同士の親睦を深めて下さい。

悲しい水の事故を防ぐために

気温も湿度も上がり、水が恋しい季節になってきました。今週の火曜日には、本校職員と4・5・6年生児童を中心にプールの掃除を行い、いよいよ来週にはプール開きを迎えます。小学校のこの時期だからこそ、泳げる力をしっかりつけて、中学校に進学させたいと思っています。毎年、悲しい水の事故が報告されていますが、防げぐために大切なことは2つだと思います。



第1に、人に流されない強い判断力

いくら仲の良い友人が誘おうとも、決して危険な場所での泳ぎに誘惑されない。

また、毅然として友を止める勇気を持つこと。

第2に、確かな泳力

イギリスでは、まず、平泳ぎを教えるとか。つまり、万が一、水に落ちても、視界を確保し、岸を目指す泳法を習得させるようです。日本では、段階的に伏し浮き、バタ足、クロール、平泳ぎと指導していきますが、途中で諦めてしまうと、「面かぶりクロール」（息継ぎなしで、顔をつけたまま泳ぐ方法）ぐらいで終わってしまいます。

これでは、大変です。万が一、本人が意図しない形で水に落ちたときに、すぐに水に沈んでしまうか、岸を確認できないまま闇雲に泳いで危険な深さの所に行ってしまうからです。

ということで、水泳時期には、お子さんが水泳の授業にしっかり参加できるサポートをお願いします。身に付けるべきは、自分の身を守る最低限の泳力です。尻込みするお子さんには励ましをお願いします。悲しいかな、見学ばかりでは、泳力は決してつきません。